

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は-75と前期より3ポイント下降し、依然低調な動きとなっています。売上額は-69と4ポイント、収益は-65と4ポイント下降し、減少傾向を強めました。価格面では、販売価格は-24と3ポイント下降し、減少傾向を強め、仕入価格は17と12ポイント上昇し、上昇傾向を強めました。在庫は9と16ポイント上昇し、過剰に転じました。資金繰りは-73と15ポイント下降し、窮屈感が強い状態から脱していません。残業時間は-7と16ポイント上昇し、減少傾向が弱まりました。人手は-6と1ポイント上昇し、わずかながら不足感が弱まりました。設備の状況は-21と横ばいで推移しました。設備投資については、事業用土地建物等で10%の先が実施し、前期より4ポイント減少しました。

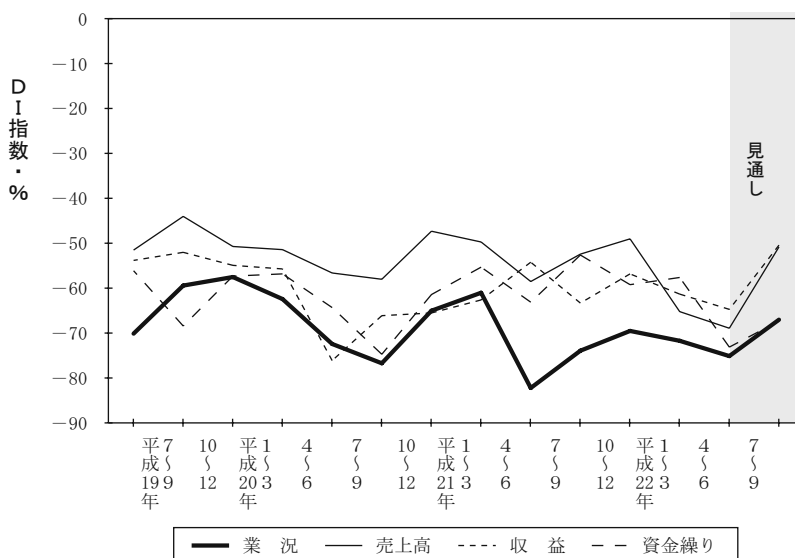
来期の見通し

業況は-67と今期より8ポイント上昇し、悪化傾向は弱まりそうですが、依然低調な動きは続くものとみえます。売上は-51と18ポイント、収益は-51と14ポイント上昇し、減少傾向を弱め改善となりそうです。価格面では、販売価格は-18と6ポイント上昇し、下降傾向を弱め、仕入価格は1と16ポイント下降し、適正水準の動きとなりそうです。在庫は-5と14ポイント下降し、不足に転じるとみえています。資金繰りは-67と6ポイント上昇するとみえますが、依然窮屈感の強い状態は続きそうです。残業時間は-9と2ポイント下降し、減少傾向が強まり、人手は2と8ポイント上昇し、適正に近い水準の動きとなりそうです。設備の状況は-19と2ポイント上昇し、不足感は弱まりそうです。設備投資については、車両で3%の実施予定とし、今期より7ポイント減少し、投資意欲は低水準の動きとみえています。

調査員のコメント

- 店舗の立地地域は、学生が多く、若者が気軽に利用できるようなメニューに考えている。(そば・麺類)
- 味に定評あり、予約客が多く、また客のリピー率高く、業況は安定している。今後は設備投資も検討している。(寿司・和食)

景況の推移



主な指標の動き

